

新・経営計画「Vision 2030」を掲げる㈱七十七銀行（仙台市青葉区）の小林英文取締役頭取と、人材紹介と事業承継支援を手掛けるヒューレックス㈱（青葉区）の松橋隆広社長が、新型コロナウイルス感染症の影響下、地域金融機関が取り組んでいる地元中小企業に対する結婚承継支援や事業承継支援、そのための必要な組織づくりについて対談した。



ヒューレックス㈱
代表取締役社長
松橋 隆広 氏

まつはし・たかひろ 1963年青森県生まれ。86年山一證券㈱入社。2003年ヒューレックス㈱設立、13年マリッジパートナーズ㈱設立、16年事業承継推進機構㈱を設立し、それぞれ代表取締役社長に就任。事業承継の総合的な支援を行っている。

松橋 前編では、地元企業の事業承継やM&A（買収・合併）支援、2021年12月に設立された「七十七パートナーズ株式会社」の設立意義などについて、お話を伺いました。後編ではまず、事業承継にも大きく関わる問題となっている結婚承継についてお聞きします。企業経営者や後継者の未婚化・晩婚化が事業承継のうえで不安要因となっていますが、この問題についてどのように捉えていますか。

いもありますので、これについてはプロにおまかせしたほうが良いと考えています。ですから、そのようなニーズが寄せられた場合、御社のような提携先と連携して対応しています。

松橋 ヒューレックスグループのマリッジ㈱は、提携先の金融機関の頭取や役員より、取引先企業の経営者もしくはその後継者の結婚相手を紹介してほしいというニーズから誕生した会社で、人材紹介会社で長年培ってきたカウンセリングノウハウを活用し、全国トップクラスの成績実績を実現しています。おかげさまで、今では提携先が地域金融機関など128になりました。特に、御行の支店長より企業経営者のご子息のお相手やお嬢さまの婿養子に関する相談が多数寄せられてお

り、「結婚承継」で連携を強化しております。また、取引先企業の従業員の離職者防止や定着率の向上につながる「福利厚生を活用した結婚相手紹介サービス」や地方自治体と連携し、地元の独身者に仲人型で結婚相手を紹介する「二年成婚事業」の婚活支援、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているホテルや結婚式場に対し、事業再構築補助金を活用した「結婚相談所立上げ支援」で新事業・多角化をサポートするなど、結婚から次世代につながる事業承継支援を行っております。

小林 以前は、お取引先などからご子息・ご令嬢の結婚相手を探してほしいと依頼を受け、ご紹介してお見合いに至ることがありましたが、昨今はプライバシーの問題や個人の意見を尊重するなど時代の変化もあり、そのような機会は減少していますし、結婚に対する考え方の違

いもありますので、これについてはプロにおまかせしたほうが良いと考えています。ですから、そのようなニーズが寄せられた場合、御社のような提携先と連携して対応しています。

小林 新型コロナウイルスの影響で先行きに不安を感じ、事業承継や事業の転換、またはやむを得ず廃業を考える方も少な

最高のビジネスパートナーに

くありません。当行として取引先の経営改善、事業再生支援、販路拡大支援や事業転換支援などに力を入れるべく、専門のサポートチームを編成して対応しています。すでに

1万件以上のご相談をいただいております、それらに丁寧に取り組んでいます。先程（前編）お話ししたとおり、事業承継やM&Aのご相談も増えてい

松橋 小林頭取が就任して以来、御行ではコンサルティング営業に力を入れてきました。その成果が、1万件以上の相談に表れていますね。

小林 新型コロナウイルスの影響もあり、銀行にはコンサルティング機能が求められているというのを改めて強く感じています。おかげさまで地域に

力を入れ、企業にとって最高のビジネスパートナーになっていきたいと考えています。

支店があり、お客さまとしっかりとした信頼関係を構築することで数多くのご相談につながっています。また、金融

松橋 まさに選ばれる銀行として必要な姿であり、その結果、御行をメインバンクに選択する割合も高まっていますね。

小林 ありがとうございます

The
地方創生

地方創生が東北の未来をつくる

す。当行として事業領域を拡大していきたいということで、新・経営計画「Vision 2030」で掲げるように新事業や新分野に挑戦しています。当行が単独では対応できないことについては色々と提携をさせていただきながら、お客さまへのサービスメニューを増やしていきたいと考えています。

松橋 お金と人、そしてビジネスマッチングなどのさまざまな支援策を組み合わせることができると、企業だけでなくその地域全体の生産性が上がります。

小林 今の時代、生産性の向上を図らないと生き残っていくことができない状況になってきています。そのために

は、地域をけん引する中核企業が数多く育つ必要があります。当行としても側面支援だけではなかなか貢献できないところもあると思いますので、七十七グループが一体となりマジョリティ投資などさまざまな手法を活用し、企業支援に注力していきたいと考えています。

松橋 地域に良い企業ができると新たな雇用につながりますし、生産性の向上は従業員の待遇向上にもつながります。そのような中核となる企業

業をたくさん育んでほしいと思います。

小林 中核となる企業が地域にたくさん育ち、いい日本にできれば良いですね。

松橋 ありがたいことに、経営者または後継者を志す方々、もしくはU・I・Jターンで地元の人になりたいと考えている方々が仙台・東北に集まってきています。そのような熱い思いを持った人材を御行と連携して企業に紹介し、地域の発展に貢献していきたいと思っています。

コンサルティングとチャレンジ

小林 県内外問わずチャレンジする方がたくさん出てきてくれることを期待しています

すし、「Vision 2030」の中で、われわれも「企業文化の改革」をうたっています。その中でチャレンジ

(株)七十七銀行 取締役頭取

小林 英文 氏

こばやし・ひでふみ 1957年生まれ。宮城県仙台市出身。東北大学経済学部卒業。81年(株)七十七銀行入社。総合企画部長、取締役本店営業部長、常務取締役、取締役副頭取を経て、2018年6月より現職。

しようということ。これを前面に掲げています。ですから、当行にとって、創業なさる方にとつてもまさにチャレンジだと思っていますので、一緒に進んで

いければと考えています。

松橋 最後に、地元の中小企業経営者や後継者にメッセージをお願いします。

小林 「Vision 2030」では、金融機能とコンサルティングを極めるとともに非金融分野における事業領域を拡大し、23年度までに新事業・新分野のプロジェクトを10件立ち上げることを掲げています。また、生産性の飛躍的な向上などもうたっていますが、そのためには行員一人一人の意識改革が欠かせません。そのため、私と専務、常務で営業店を回り、行員と対話する時間を設けています。行員一人一人が理解し、自分で考え、地域のために行動してくれると期待しています。事実、若い行員の行動が変わってきています。その結果、地域経済の発展と企業としても成長できればうれしいですね。繰り返しになりますが、当行として

コンサルティング営業に力を入れ、お客さまの役に立ちたいと考えていますので、何なりとご相談ください。七十七グループと提携先が一体となつて、お客さまの課題解決に向けて頑張つてまいります。

松橋 すごく良い話を聞かせていただきました。まさに若い行員の方々の力が、明日の東北・仙台の力になっていくと感じましたし、地域の金融機関と中小企業が一緒に元気になっていく未来を感じました。この新型コロナウイルスは、地方創生を実現する絶好のチャンスになるのではないかと思います。地域の中小企業は特に、幹部人材の採用と事業承継や結婚承継など、人に関わる数々の課題を抱えています。ヒューレックスグループは、人の側面で行行と連携し、伴走型で地域の中小企業をサポートし続けてまいります。貴重なお話ありがとうございました。

